



とうほうむら

2月号
2021

議会ウォッチ

ココに注目!

東峰村ライスセンター《トピックス》 P2

東峰村水源の森交流館(仮称) P4

ここが聞きたい《一般質問》 P5

表紙 / 中原地区の鬼火焚き風景

「東峰村ライスセンター」 の現状と課題



東峰村ライスセンター

東峰村の農業の振興と農作業軽減を目的として建設された東峰村ライスセンターの現状と課題を聞きました。

東峰村ライスセンターは、米の品質向上、農作業の効率化及び生産コストの削減を目的とした共同乾燥施設が、平成28年に完成したことから、運営母体として同年6月に農事組合法人東峰村農業生産組合が指定管理を受け、9月より乾燥・粳摺りを開始しました。



乾燥機 (16石)

また、現在は職員1名、臨時職員2名で対応していますが、職員不足や農繁期における作業員確保にも苦慮している現状です。

今後においても、農業の振興と、稲作農家の農作業軽減を目指し運営していきたいとの事です。



乾燥機

平成29年より、新規事業として水稻育苗・農地受託・農作業受託の事業を実施。

平成30年より、新たに柚子胡椒・米味噌・麦味噌の農産加工業務も実施。

また、令和元年より、遊休農地を活用して、玉ねぎ栽培にも取り組んでいます。

令和2年は、村内で粳摺をされていた方の廃業により取扱量は増大しましたが、作付面積の小さい農家の乾燥において、センターでの一番小さい乾燥機(16石)でも対応できない少量乾燥の問題や、乾燥・粳摺りは事前予約受付にて実施していますが、休日・祭日での偏った刈取りや、刈り取り時の天候によって一日の乾燥量を超えての搬入があり対応できない問題が発生しています。

事業実績

商品名	28年	29年	30年	元年	2年
乾燥・粳摺り(60kg)	1,957.5	2,340.0	2,349.0	2,060.5	2,350.0
粳摺りのみ(60kg)	2,018.5	1,363.0	1,365.0	930.5	1,619.5
乾燥のみ(60kg)	18.5	63.0	84.0	93.5	80.0
出来高合計(60kg)	3,994.5	3,766.0	3,798.0	3,084.5	4,049.5
うち、色彩選別(kg)	1,539.0	3,240.0	3,286.0	2,582.0	3,144.0
水稻育苗(箱)		1,029	1,391	2,466	3,063

ここが聞きたい!

一般質問

令和2年東峰村議会第9回(12月)定例会 一般質問

質問順	議員名	質疑事項(色付きは記載事項)
1	高橋 弘展	宝珠山ふるさと村の経営について……………P6 子どもたちの居場所づくりについて……………P6
2	黒川 隆康	過疎対策法の失効に関する見解について……………P7 ウォーキングマイレージ事業について……………P7 東峰学園のオンライン授業について……………P7
3	高倉 寛視	村長の村政運営について 買い物支援について……………P8 陶器組合陶土問題について……………P8
4	長澤 貞義	急速充電器設置について……………P9 子供たちの遊具について……………P9
5	梶原 伯夫	村長の活動案件について……………P10 村有財産の管理について……………P10 国道211号線の歩道設置について……………P10 協力隊について ハンコレスについて
6	梶原 光春	JR日田彦山復旧工事会議の内容について……………P11 県道八女香春線について……………P11 岩屋公園整備について……………P11 災害復旧工事について

一般質問とは……

議員が、村の行財政全般にわたって執行機関に疑問点を投げかけ、自治体としての考えを求めるものです。1年に4回ある定例会にて行うことができ、質問と答弁を合わせて1人60分の時間制限の中で行われます。また、東峰村議会では事前に質問の概要を提出し、議会開会前に執行部は答弁の準備を行います。



旧小石原小学校

東峰村内の気になる“ギモン”を調査するコーナーです

賃貸施設「東峰村水源の森交流館(仮称)」整備工事進捗状況を調査しました。

水源の森交流館は、旧小石原小学校の跡地を(株)小石原ドットコムさんが優先交渉権者となり、小石原地区農泊推進協議会と話し合いながら、(株)大敷組・筑水建設(株)共同で工事を進めています。施設名は、「アクアクレタ小石原」です。

主に企業研修を目的とした研修室や宿泊室(シングル9室・ツイン6室・大部屋等)、囲炉裏の部屋等たくさんの種類の部屋が来ています。また、一般観光客の利用も考えられています。

現在3月5日の竣工に向けて、内装工事を進めています。宿泊体験(陶芸・農業等)・研修等の事業を行い村民雇用についても考え、みんなが集う場所を目指しているそうです。

施設内のレストランは創作イタリアン料理を中心に、出来るだけ東峰村産野菜など地産の食材を使って営業するそうです。

村民の方に対して、令和3年3月13日に内覧会をやり、令和3年3月20日プレオープン・4月1日完全オープンに向けて工事が進んでいます。



スイートルーム(元音楽室)



囲炉裏の間(元家庭科室)



高橋弘展 議員

発達障害についての村での取り組みは

— 教育長 巡回教育やカウンセラー相談等で対応

議員 脳機能の成長がある程度形になってくるのが5歳とも言われる。5歳から就学に向けてのアプローチしていくためにも、5歳児健診の必要性があるのではないか。
保健福祉課長 極端な症状があれば対応できていると思う。そうでない場合は保護者との相互理解が出来ていないのが現状。保護者との相互理解を得るよう努めることが大事と捉えている。

議員 東峰学園での巡回教育相談の頻度は。

教育長 基本的に担任が、子どもの行動が気になる場合は申請して、教育事務所からの巡回教育相談や、スクールカウンセラーにアドバイスをいただいている。

議員 担任の先生の発達障害に対する知識や考えに依存している部分が多いのではないかとこのことに関して、学校や教育委員会としてのフォローはされているのか。

教育長 学校は特別支援教育コーナーディネーターが週1回会議を開き、管理職も含めてチームとして支援内容を決めている。教育委員会としてはスクールソーシャルワーカーを村予算での雇用、スクールカウンセラーについては派遣回数増を要望している。

議員 大事なものは、母親や父親に対してどういうフォローをさせていくのか。通常学級に通わせたいし、診断をショックに思われる方が大多数だと思う。誰がフォローするのか。



保健福祉課長 行政の場合、保健師や障害福祉担当が窓口になつてくる。保護者の方から相談を受ければつなげるが、発見が難しい状況である。
教育長 学校では、小児科や専門的な療育機関に保護者をつないで、専門的な立場からアドバイスを受けるようなつなぎの役目をしている。

延田住宅の件について

議員 当事者と解決がなされたのか。

村長 未だに問題解決はしていない。現在係争中である。

議員 昨年7月のふるさと村役員会で村長以外の役員の中で、村長個人で責任を取るような発言もあるが、社長という責任については何か取られないのか。
村長 民・民の問題ということで進行がなされている。



黒川隆康 議員

過疎法失効に対する取り組みを伺う

— 村長 全国の市町村と歩調を合せ取組む

議員 現行の過疎法が失効することにより、新たな過疎対策法が検討されている。財政事情が苦しい自治体にとっては、指定から外されることは大きな問題である。県と歩調を合せ、要望することが必要であると思うが、今後の取組みを伺う。

村長 11月20日に全国過疎地域自立促進連盟の大会で、過疎対策の充実・強化、過疎地域の振興・持続発展が図られる新たな過疎対策法の制定を強く求める決議案が、全会一致で可決された。東峰村においても、存続していくための重要な法律である。過疎の指定を受けている全国の市町村や県と歩調を合わせ、要望活動に取り組んで行く。

ウォーキングマイレージ事業

議員 ウォーキングマイレージ事業についての検証は行ったのか。実施したのであればその結果を伺う。

保健福祉課長 本年3月末に結論を出すところであったが、新型コロナウイルスの影響で検証が出来ていない。「1回30分以上運動習慣なし」と答える割合を、全国平均以下にすることを目標値としていたが、この事業の結果については、概ね達成しているとの評価を行っている。

オンライン授業について

議員 東峰学園ではICT活用の整備を進めるとともに、オンライン授業に向けての準備も行っているが、その進捗状況を伺う。

教育課長 ギガスクール構想の前倒しで、国の支援を受けて計画的に進めている。来年の2月中旬頃までには、一人一台のタブレット端末と学校全体の通信環境整備が終わる見通しである。また、12月から休学中の生徒の希望により、オンラインでの授業を行っている。

議員 オンライン授業を有効に機能させるためには、教師のスキルアップが最も重要であると思うがどのような支援を考えているのか。



オンライン授業



高倉 寛視 議員

鼓の里の買い物支援事業に支援しないのか

副村長 できる限り支援していきたい

議員 つづみの里が買い物支援を考えて、8月に村に対して後援依頼をしたが、どのように対応したのか。

村長 現在、村で買い物支援事業の取り組みを計画している段階であるので、後援についてはお断りをしました。

議員 つづみの里や社協が、一緒にやってやっていこうとしているのを、何故断らなければいけないのか。買い物支援移動車を、動かそうかと思っているのであれば、一緒にやってやるべきではないか。

村長 村としては移動スーパーの事業を、試験的に考えている。職員等の参加はお断りをした。

議員 今回移動スーパーを、動かしてくれたのが、浮羽のサンピットだということだが、つづみの里が各地で出張販売をするときは、エフコープの方々がいつも応援してくれている。

副村長 また、エフコープは災害後に、何度も炊き出し支援等をしていただきました。そのエフコープとつづみの里が、買い物支援について話を進めているのに、何故村として応援できないのか。

副村長 村として協力したいとは思いますが、民間企業に対して協力するのは難しい。



つづみの里弁当

議員 つづみの里を一民間企業としか考えていないのか。

つづみの里には村の人たちが、野菜など色んなものを持ってきて、村民の方の活性化にも役立つ、地域に貢献してきた施設であります。

このようなつづみの里を何故、応援や支援ができないのか。

副村長 つづみの里を中心とした東峰百貨店の取り組みについては感謝を申し上げ、できる限りの支援はしていきたい。



つづみの里

陶器組合の陶土問題について

議員 森林公園のところに良い土があると聞いているが、保安林ということなので早めに県に相談して、試掘ができるようにするべきではないか。

村長 トーキョーディネーター事業の中で、調査等が出来れば行う。

議員 調査ではなく保安林解除を、県に相談できないのか。基幹産業である陶器生産者たちが、困ることがあつては本村にとって死活問題だと考えるが、早く手を打つべきではないか。

村長 森林公園内の形状変更は、原則として認められないとの回答を得ている。

急速充電器設置について

議員 最近のニュースでは世界中がCO2削減に動きだしている。我が国でも2030年代に二酸化炭素を排出しない車の普及を目指すといっているが、そのためにはEVの急速充電器の設置が必要になる。周辺自治体の嘉麻市や日田市にはかなりの急速充電器が設置されており、地球の温暖化対策の為に、急速充電器の設置と電気自動車の普及が必要であるが、村内に設置できないか。

総務課長 観光の拠点としての道の駅、陶の里に置ければと前回の質問では答えていたと思う。道の駅の理事会では非常に前向きに検討している状況だが、やはり駐車場の台数が減るのが困ると言うことが出ていた。

急速充電器については、道の駅とそれぞれの庁舎に置くときの費用対効果等も加味したところで、考えている。今回村に広報用の電気自動車を購入することになり、両庁舎に普通充電器を設置したいとおもいます。急速充電器についてはもう少し検討させていただきたい。



長澤 貞義 議員

未だに遊具の設置ができていないが

村長 整備を含め今後考えていく

議員 村民の方からも遊具設置の要望の声が出ている。以前にも一般質問で問うたが、未だに設置ができていない状況だ。

文部科学省の幼児期運動指針によると、幼児にとって体を動かして遊ぶ機会が減少すると、その後の児童期、青年期への運動やスポーツに親しむ資質や能力の育成の疎外にとどまらず、意欲や気力の減弱、対人関係などコミュニケーションをうまく構築できないなど、子どもたちが自由に遊べる環境づくりをしないと、こういう発達障害に遊具を設置していただきたい。

村長 子どもの情操教育とか体力、そういったところについても村としてしっかり受け止めている。前回は答弁しているとおり、トラブル(事故やケガ)等の対応の難しさや、設置者としての責任の所在等に対応していく為にも、もう少しお待ちいただけたらと考えている。



急速充電器



梶原 伯夫 議員

村長が村民を訴えるとあるが事実か

— 村長 債務不存在確認請求の訴訟です

議員 一部議員の広報誌に、「村長が村民を訴える」と出ていたが事実か。

村長 一個人の澁谷博昭の立場で、法的に支払い義務のない事の確認である債務不存在確認請求の訴えは起こした。

議員 訴えた理由は何か。

村長 伊藤ちずる氏の代理人を自称する人物から、極めて高額な慰謝料を含む、損害賠償の支払いを執拗に提示されたこと。

伊藤ちずる氏からも高額な慰謝料の支払いを求める、書留内容証明が届いたこと。

また、村政運営上の問題でないのに一部の議員が繰り返し繰り返し返し、議会での一般質問をすることで、相手側に穏やかに問題を解決する意思がないとの判断をしたため。

議員 村民を訴える事に躊躇はなかったか。

村長 非常に大きな躊躇はあった。

民・民の問題であるとは度も答弁しているにもかかわらず、一部議員が執拗に議会の一般質問等で取り上げると、紛争解決ではなく別の政治的な意図があると思わざるを得ない状況になったので、やむを得なく訴訟に踏み切った。

債務不存在確認請求の訴訟は、私が高額な賠償義務がない事の確認を裁判所に求めたもので、伊藤ちずる氏に対して金銭の支払いや義務の履行を求めたのではない。

今私の方は、伊藤ちずる氏から高額な慰謝料の支払いを求める、債務不存在確認反訴請求事件という形で訴えられている。



梶原 光春 議員

JR日田彦山線復旧工事会議の日程は

— 企画政策課長 随時打ち合わせを行う

議員 今後の工事内容で線路の撤去を行い、コンクリート打設後、バス専用道になっていくが、細かい工事の打ち合わせの担当者、誰が責任を持って行うのか。

議員 観光列車等の要望は可能か。

村長 JRの担当部長と協議をしたが、レールは撤去されておとりトロッコ列車の話はできない。

企画政策課長 JRの工事担当者、福岡県、私も担当課で細かな打ち合わせは随時行っている予定。

村長 JRと自治体が直接話すのは問題がある。県の交通政策課も十分承知して、認識してもらいたいので、今後はJRと自治体が直接話を進めるのは、やめていきたいと考える。



JR筑前岩屋駅

国道211号線歩道設置について

議員 小石原道の駅より小石原交差点方面の歩道設置は、いつ頃になるのか。

建設水道課長 現在朝倉県土事務所において、砥石渡付近から塔ノ元間で歩道整備が鋭意進められている。指摘の区間だけでなく村内を通る国道道は十分な歩道の幅が確保されていない。村民生活への影響を踏まえつつ関係機関への要望を、引き続き実施する。



国道211号線

第2販売所について

議員 販売所の壁とテラスにビス穴等が残っているが、何故修理させなかったのか。

村長 今回は契約満了を待たずに賃貸権解消だったため、一日も早く出てもらったため。

議員 コンテナはいつ撤去してもらえるのか。

村長 12月15・16日で撤去される。



第2販売所テラス

県道八女香春線の拡幅について

議員 竹棚田交流館から竹浄水場までの用地買収予定は、現在着工している岩屋駅からの始まりが12年かかっている。遅れに遅れて工事がなされているが、近年通行量が非常に多くなっているため、離合が困難になっている。そのためにも県の買収予定時期を知りたい。

建設水道課長 当該区間の施工については災害復旧事業を優先して実施せざるを得ない状況。先ずは、現在の施工区間の早期の完成を目指している。棚田交流館から奥竹までは、美しい竹棚田への影響等も懸念されることから、地域の意見を踏まえて、県への要望、調整が必要。村としては八女香春線の国道昇格及び改良促進に向けて、要望活動を引き続き実施していく。

岩屋公園の整備状況について

議員 29年災害後、国の重要文化財である権現神社までの参道が非常に悪くなってきており、特に下る時に転倒の事故が起きている。

また、古い便所が放置されたまま、汚く衛生上も良くない。改善の考えはないか。

村長 北部災害の関係で手付かずの状況でまことに申し訳ない。また、岩屋公園から栗松の眼鏡橋までの景観づくりを今後行って交流人口の増加を考えたい。

農林観光課長 現地を再確認させていただき、トイレが必要か、案内板で済むのか。また参道については舗装がいいのか検討したい。



岩屋神社トイレ

第9回定例会(12月)議決結果一覧表

賛成：○ 反対：● 欠：-

区分	審議結果	議案一覧	伊藤均	泉守	大蔵久徳	高倉寛視	長澤貞義	高橋弘展	黒川隆康	梶原光春	梶原伯夫
専決処分	承認	専決処分の承認を求めることについて（東峰村一般職の職員の給与に関する条例及び東峰村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例	可決	東峰村残土処理場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	可決	令和2年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算（第6号）	○	○	○	●	○	○	○	○	○
	可決	令和2年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	可決	村道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第1回臨時会(1月)議決結果一覧表

賛成：○ 反対：● 欠：-

区分	審議結果	議案一覧	伊藤均	泉守	大蔵久徳	高倉寛視	長澤貞義	高橋弘展	黒川隆康	梶原光春	梶原伯夫
補正予算	可決	令和2年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議事録はホームページでチェック!

定例会・臨時会の議事録はホームページで確認いただけます。

- ・パソコンの場合は東峰村ホームページ【<http://vill.toho-info.com/>】へアクセスし、「村議会」ページを開き、右メニューの「議事録・採決一覧」からご覧ください。
- ・スマートフォンの場合は右のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



編集後記

凍てつく山里の流れる小川も、温みはじめ、川面に揺れる煙が上る。

一足早く朝餉の膳に、落味噌が春の訪れをはこんでくれる日も近い。

新型コロナウイルスが拡散し始めてから早一年が過ぎた。未だ収束の兆しすら見えず、人々の不安と将来への展望もはつきりとは見通せない日々。

長き一年、重き一年。ワクワクン接種が始まり少しずつ希望の光が、全世界の人々に届くことを改めて願う。

議会広報特別委員	伊藤均
委員長	黒川隆康
副委員長	泉守
委員	梶原光春
委員	梶原伯夫
発行責任者	佐々木紀嘉
議長	